

<13年1月 品質工学研究会 議事>

日時：1月12日（土）10：00～16：00

参加：井上、伊藤、大見、川畑、牧野、森、山口、池田（議事）

場所：ITEQ事務所

●研究会内容（この部分のみ HP 公開）

◆イノベティブ開発ステップ（井上）

- ・『イノベーションを生む技術開発商品の流れ』の紹介（井上）

イノベティブ開発と名付けた『イノベーションを生むための技術開発・商品開発の流れ』

を実施例を通じて構築するための研究を行う。

第1回目として進め方の構想を提案し、全体の流れと最上流ステップの事業戦略整理の仕方を説明した。

全体の流れは4つの大ステップから成り、

- ①技術・商品戦略立案ステップ
- ②先行技術開発ステップ
- ③次期製品開発ステップ
- ④ロバスト設計ステップ

に分けた。

第1ステップの最上流と考えている『会社事業の過去分析と今後の方向付け』に対する整理法として、

過去も多用されているSWOT分析&ポートフォリオ分析の手法論と有効な活用法、解析後の事業への

真に役立つ反映方法を次回までの各自研究課題とした。

また大きな技術トレンドを理解することにより技術予測を容易とするため、『技術進化の法則』

に対しても担当を決め整理してくることになった。

◆品質工学の深堀

- ・波形分析ツールの紹介（牧野）

MT法では、単に生データを解析しただけでは、単位データと信号データの区別が、つかない場合がある。アングルトライ社から、特徴抽出ソフトとして、Wave Toolが販売されている。今回Wave Toolを使用し、特徴量の抽出方法を紹介した。

波形データに、標本線を引き線の交点の変化量と、線の下側の存在量を簡単に抽出出来る方法で、特徴抽出したデータをMT法で解析することにより、従来解決出来なかった課題を、解決出来るようにした方法である。